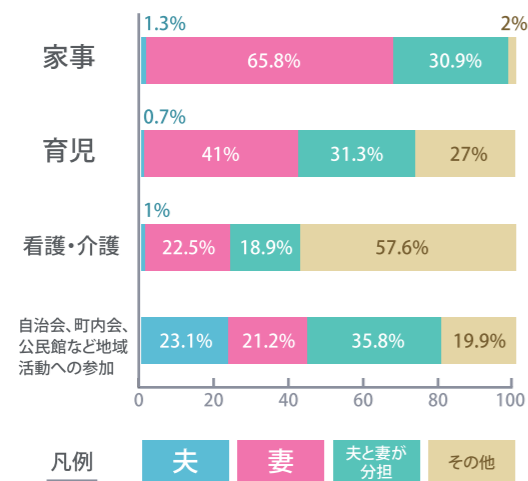


家事・育児・介護…分担どうしていますか？ 大切なのは『お互いへの思いやり』

共働き世帯が増えた現代で、大なり小なり夫婦げんかの火種になりやすいのが、「家事育児の分担問題」。加えて、近年の晩婚化により、育児と親の介護が同時期に重なってしまう「ダブルケア」(P14)も問題になっています。家事・育児・介護。決して楽ではないのに誰かがやらなくては行けない、「家族のための仕事」を、あなたの家庭ではどのように分担をしていますか？

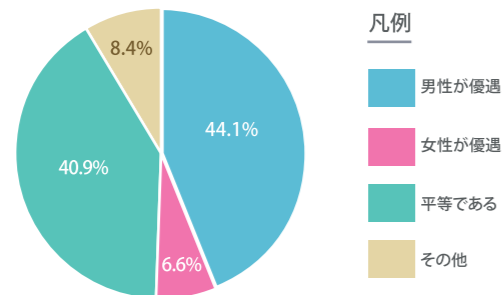
家庭における夫婦の役割分担について



家事は妻が負担…6割超！

夫婦の役割分担について聞いたところ、「妻」が負担する割合がもっとも多かったのが、「家事」約6割。次いで育児4割、介護・看護2割。地域活動への参加は「夫と妻が分担」がもっとも多いという結果でした。特に家事と育児に関して、妻への負担が偏っていることがわかります。一方で、鹿児島県全体でみると、「妻が家事を担当」は約7割となっており、奄美市を上回る妻への負担が大きい結果。しかしアンケート回答者の共働き率は奄美市が県全体を上回っており、地域ごとの働き方にあわせた分担割合であることが推測されます。地域、家庭ごとの実情にあわせた分担法を考えてみませんか。

Q.家庭の中で男女の地位は平等だと思いますか？



VOICE / 奄美市民からの声

夫婦間での家事育児の分担がうまくいかない。外での仕事量、責任の重さは変わらないのに／両親世代が、家のことは女がする名残があるので、夫が手伝わなくて悩んでいることを理解してもらえない／私が飲みに行きたい時には何日も前からお伺いをたてて、飲み会から帰宅するとシンクに夕飯のお皿が入ったまま、洗濯物も山盛り…部屋は散らかったまま…楽しい気分ですごしたのに…／主人は仕事から帰ってきて子供の面倒、家事をしてくれるので本当に助かっている。

※グラフ・VOICEは、H29年奄美市男女共同参画に関する市民意識調査、平成30年ホッペを教えてくださいWEBアンケート(しーま)より

HINTS!

家事育児分担のヒント

いざ分担!と勇んでみても、うまくいかずに逆に喧嘩のもとになってしまう…なんてこともよくあること。以下の「コツ」を参考に、それぞれの家庭なりの「分担」を考えてみてください。

- 1 得意なこと、簡単なことから分担スタート**
…嫌いなこと、苦手なことは結局嫌々なので長続きしません。まずは取りかかりやすいものからそれぞれ分担してみましょう。
- 2 お金で解決**
…食洗機や乾燥機付洗濯機、お掃除ロボット、あるいはハウスクリーニングサービスなどの利用者も増加中。思い切って「プロ」に任せることで互いの負担が軽減されてハッピーに。
- 3 魔法の言葉「ありがとう」**
…相手の家事がいまいちでもやってくれたことにまず感謝。口にする方も言われた方も悪い気はしないはず。言葉にしなければ伝わらないことが多くあります。まず口にすることを努力を。

chapter 1.

-家庭編-

一番身近で気兼ねない場所だからこそ、問題が起きやすいのが「家庭」エリア。「家族だから」と甘えずに、それぞれの立場や考えていることを理解し尊重しあって生活したいところです。今回は火種になりやすい、「役割分担」を取り上げたいと思います。

家事・育児分担しようでい!



(漫画: ひわき はる)